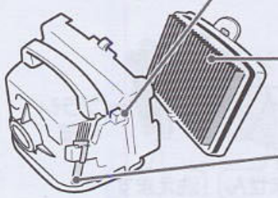
ご使用前に必ずお読みください

サイクロン式クリーナーは、紙パックを使わずにダストカップ内にゴミをためます。
ゴミの種類により、ゴミすてラインにゴミがたまる前に吸込力が弱くなる場合があります。
このようなときは、ダストカップとプリーツフィルターのお手入れをしてください。
吸込力を持続させるために、お掃除が終ったらこまめにゴミを捨てましょう。

ダストカップの構成





ダストカップ・フィルターのお手入れ

吸込力を持続させるために、月に1度を目安にお手入れしてください。
(お手入れの頻度はゴミの種類や使用頻度により異なります。)

お手入れブラシのはずしかた



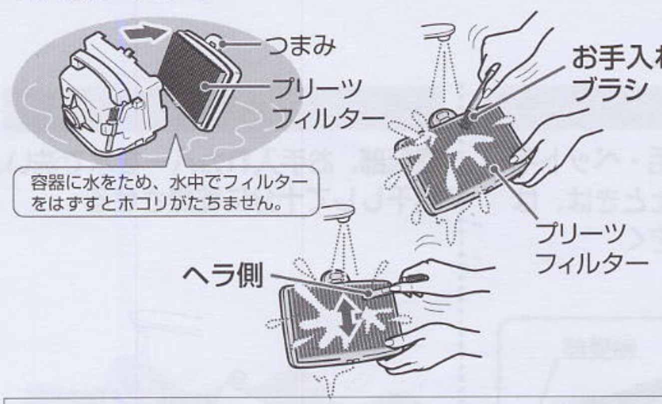
矢印の方向に引き抜いてください。

プリーツフィルターのお手入れ

プリーツフィルターをはずし、水洗いする

①つまみをもち、フィルターをはずす

②水洗いをする

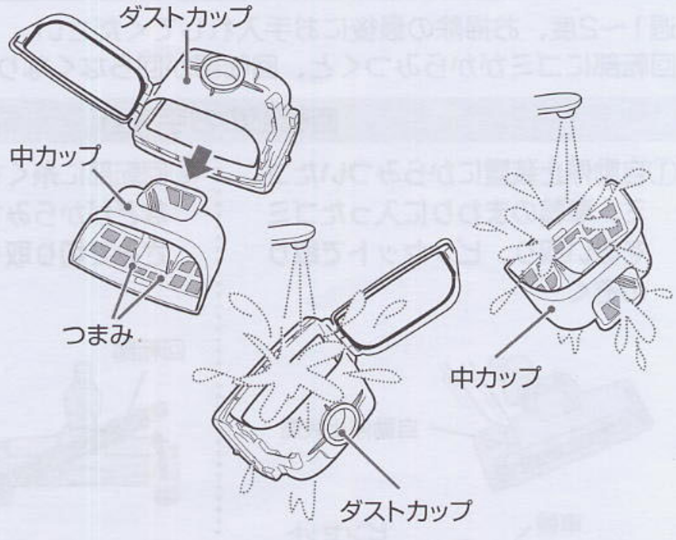


プリーツフィルターを広げながらお手入れブラシで洗ったり、容器に水をため、つけ置き洗いをするとゴミが落ちやすくなります。また、しつこいゴミには、お手入れブラシのヘラ側を使うとゴミが落ちやすくなります。

ダストカップ・中カップのお手入れ

ダストカップ内の中カップをはずし、水洗いする

- 中カップのつまみを持ち、はずす。



お願い

- フィルターは強く引っ張ったり、押したりしないでください。破損の原因となります。
- 性能・品質を保証できませんので、洗剤・漂白剤などを使用したり、洗濯機で洗ったり、暖房器具、ドライヤーで乾かさないでください。
- 水洗い後、プリーツフィルター・中カップにゴミが残ったまま乾燥しますと、臭いが発生することがあります。
- お手入れ後は、必ず十分に乾燥させてからセットしてください。ぬれたままご使用になると故障の原因になります。
- プリーツフィルター・中カップは必ず取りつけてください。取りつけないと故障の原因となります。

新しいプリーツフィルターはお買い上げの販売店を通じて取りよせることができます。(有料)

詳しくは、取扱説明書をご覧ください。

(裏面もご覧ください)

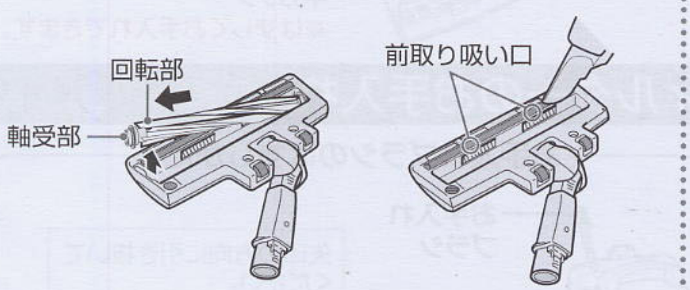
ご使用前に必ずお読みください

床ブラシのお手入れ

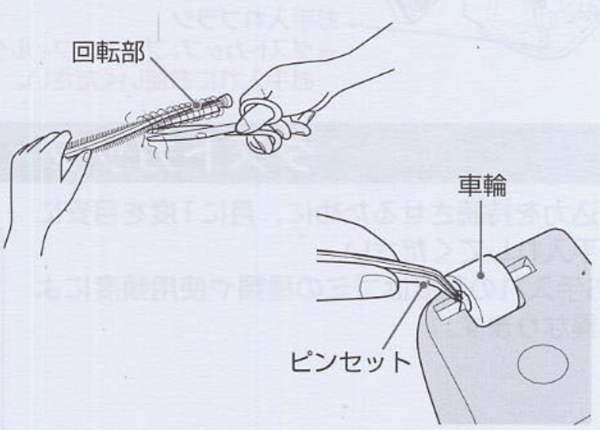
週1～2度、お掃除の最後にお手入れしてください。
回転部にゴミがからみつくと、回転部が回らなくなります。

回転部のお手入れ

①軸受部にからみついたゴミと前取り吸い口に入ったゴミを取りのぞく

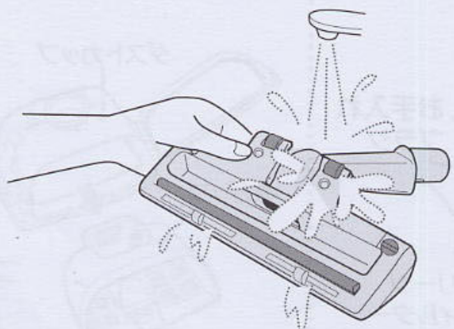


②回転部に糸くずや毛・ペット毛などからみついたときは、はさみで取りのぞき、車輪のまわりに入ったゴミはピンセットで取りのぞく



水洗い

ブラシ本体、カバー、回転部を水で洗い、陰干しして十分に乾燥させる



お願い ●ゴミがたまったままお使いになると**車輪が回らず、床、たたみを傷つける**ことがあります。

詳しくは、取扱説明書をご覧ください。